

0 S 0 浜 h a m 通 信

総会情報

6月18日横浜市民防災センター研修室にて平成16年度通常総会が開かれました。本年度は理事、監事、支部長、代議員、40名の方が出席され開催されました。(委任状5名)

危機管理対策室から島情報技術課長他2名が出席され、島課長からご祝辞を頂きました。片山理事を議長に選出、以下の議事が約2時間に渡り審議されました。

本年度総会から、会長に代わって他の理事が議長を勤める、総会の成立審査、議事録作成の徹底、議題をいきなり総会に持ち込み審議未了、時間切れを避けるため、事前審議を通過した議題を中心に議決する進め方等、当然の事ながら、改革の努力が各所に見られた総会でした。

議題は

- 1 : 15年度事業報告
- 2 : 規約改正
- 3 : 役員改正
- 4 : 16年度事業計画
- 5 : コンテスト支部対抗実施 (危機管理室長賞開設)

平成15年度事業報告

- 平成15年6月19日 理事会開催
- 6月26日 総会 市役所5階大会議室
 - 6月28日 規約改定委員会 委員委嘱
 - 7月27日 支部長連絡会議開催
 - 8月1日 会報第2号発行
 - 8月23日~24日 防災フェア 山下公園 鶴見支部担当
 - 8月31日 オール横浜コンテスト開催
 - 9月1日 平成15年度横浜市総合防災訓練 金沢支部担当
 - 10月15日 理事会開催
 - 12月17日 横浜市民防災センターにてオール横浜コンテスト表彰式、終了後懇親会

平成16年2月19日 理事会

- 2月20日 危機管理対策室との協議
- 3月15日 横浜市民防災センターにて役員会開催
協会規約改定案審議 協定改定承認会長に一任

平成16年度事業計画

- 平成16年4月1日 横浜市から協会に事務局移転
- 5月1日 会報第3号発行
 - 6月17日 災害時非常無線通信に関する協定(改訂)調印
 - 6月18日 横浜市民防災センターにて総会開催
 - 8月21日~22日 防災フェア 赤レンガ倉庫 担当
磯子区支部
 - 8月29日 オール横浜コンテスト開催
 - 9月1日 第25回八都県市合同防災訓練
場所(中区南本牧) 担当(港北区支部)
 - 9月 会報第4号発行
 - 12月 オール横浜コンテスト表彰式

規約改定

今回の、総会は議題の中でも、規約改正が大きなポイントでした。昨年の総会で支部長会設置に関し指摘を受けた箇所の改正を含め、事務局移転の件、会の目的、会議のあり方等多岐に亘り改正がありました。昨年総会后、規約改正委員会が設置され、任命された委員が原案を作成し平成15年12月に理事会に答申、其の案を理事会で検討し、続いて平成16年1月に各支部に検討依頼して、平成16年3月、支部

長を含めた役員会で審議し、総会で承認を受ける案としました。総会では、更なる規約の改善を指摘、修正の意見もでしたが、原案通り承認されました。

主な改正点

- 第2条 本会は、事務局を会長宅におく。
- 第3条 本会は、横浜市との協定により、非常災害時においてアマチュア無線通信による災害情報の収集、伝達に協力することを目的とする。
- 第7条 本会は、入会した者を会員として登録し、会員証を発行する。
- 第15条 本会の会議は、総会、理事会、支部長会及びその他必要な会議とし、会長が召集しその議長を指名する。
- 2 総会は、最高議決機関であつて、理事、監事、支部長、及び代議員をもって構成する。代議員は各支部2名とし、各支部で選任された者とする。
 - 3 総会は年1回期頭の3ヶ月以内に行う。理事会及びその他必要な会議は随時開くことができる。ただし、臨時総会は必要に応じて理事会の議を経て、または役員及び代議員の2分の1以上から理由をつけて要求があった場合に開催し、要求の日より起算して90日以内に召集しなければならない。
 - 4 理事会は、本会の業務の執行に必要な事項を審議決定する。
 - 5 理事会は、理事をもって構成する。
 - 6 支部長会は、支部長をもって構成する。

第17条 総会に付議し決議しなければならない事項は次のとおりとする。

- (1) 事業計画、予算、決算。
- (2) 規約の変更、及び市との協定書の変更。
- (3) 2年毎の役員改選。
- (4) その他必要事項。

2 理事会に付議する事項は次のとおりとする。

- (1) 総会付議事項の審議決定。
- (2) 本規約に定めのない事項の審議決定。
- (3) その他必要事項。

3 支部長会は支部間の情報交換及び会長、若しくは、理事が必要と認めた事項、その他本会の運営上の重要事項を審議し理事会に提言する。

新役員の顔ぶれ

役員改選は、理事会提案通り承認され全員再選となりました。

| | | | |
|-----|-------|--------|---------|
| 会長 | 西山藤一郎 | JA1OBY | |
| 副会長 | 森本 邦彦 | JA1CGC | 総務事務局担当 |
| 同 | 齋藤 文三 | JR1NVW | 広報会報担当 |
| 理事 | 佐藤 勝廣 | JA1GTZ | コンテスト担当 |
| 同 | 江成 晃 | JM1NDC | 支部長会担当 |
| 同 | 中澤 裕一 | J11JUX | 広報会報担当 |
| 同 | 片山 晋 | JA1XLU | 会員/会報担当 |
| 同 | 渡辺 潤 | JG1GQH | 支部長会担当 |
| 同 | 林田 利夫 | JE1VTL | 支部長会担当 |
| 同 | 川端 正司 | JF1XBQ | 総務事務局担当 |
| 監事 | 薄井 啓一 | JA1JFT | |
| 同 | 鈴木 政夫 | JA1BOA | |
| 顧問 | 野村 五郎 | JA1AX | |
| 同 | 早川 勲 | JA1BLN | |

支部長会開催

堀川（鶴見）、千石（西）、佐藤（中）、山田（南）、太田（保土ヶ谷）、安池（磯子）、安田（金沢）、渡邊（戸塚）、佐野（港南）、鈴木（緑）、川畑（泉）、斉藤（都筑）、斉藤（港北代理）、渡邊（旭区代理）、堀江（神奈川代理）

15 支部出席
理事 2 名（片山、林田）



新制度になって、初めての支部長会が平成 16 年 8 月 17 日に神奈川県民サポートセンターで 18 時より開催されました。今回から、本部理事支部長担当が支部長会事務局となり、会場確保、書類及び議事録作成等を行うこととなった。議長は、鈴木緑区支部長が選ばれた。次のように、審議及び決定事項があった。

1. 支部長会の運営と活動

- 支部長会は年 3 回以上開催することとし、1 回は総会后 3 ヶ月以内、1 回は総会前 3 ヶ月以内、1 回はその中間で懇親会を中心とし 3 回を定例開催する。必要が生じた時には随時開催することとする。
- 支部長会は、理事会や支部長会から提案があったときこれを審議し、その内容を理事会に提言する。
- 支部長会の目的や役割分担等をきっちり決める必要があるという意見が出たが、理事会で決めてもらうことになった。
- 支部長会の開催日は、土曜日・日曜日を中心にし平日の場合は午後 7 時以降とする。
- 支部長会で次回の支部長会の日・時を決める。
- 防災訓練等報告は、メールで広報係り（JR1NVW 斎藤）まで、提出すること。提出された報告内容は、活動の参考に全支部長へ再配布する。
- 多くの審議時間を必要とする、規約改正等の案件は支部長会議で詳細審議するのは適当でない（なじまない）ので、提案があった場合まず理事会に付託し、その結論を支部長会に報告、支部長会の了承を得ることとする。
- 各支部の活動状況をフォーマット化した報告書（支部基本情報）に記入、広報に送付していただき、各支部へ再配布する。支部基本情報報告書フォーマットは、片山理事が作成する。

2. 防災訓練への協力

- 区役所や訓練会場の無線局免許のあり方やアンテナなど備品等についての意見交換があった。

- 地域防災拠点についての取り組みの報告があった
- 防災フェアへの協力
- 8 都県市防災訓練
- その他

- 片山会員担当より 会員に増減があった場合は、なるべくその都度報告していただきたい。他支部の各種情報があれば、区役所との対応がやり易くなります。区役所との協定、設備関係、ホームページ、ロールコール等の状況情報がありましたら支部長会でまとめて欲しいとの提案があった。
- 次回支部長会は、11 月 14 日懇親会を中心にして行う。

補償範囲についての続報！！

会員が災害時の活動中事故にあわれた場合、横浜市との協定により横浜市消防団員等公務災害補償条例により補償されることになっていますが、前号で、補償の対象になる会員は、横浜市に在住しているか、勤務している者に限定すると報じましたが、その後市側から全ての会員に補償するとの見解が出ました。

本会への提案について、

本部事務局より御願い！！

総会は予定された案件の議決を優先審議いたしますので、突然提案がありますと時間的に制約もあり十分な審議が出来ません。新規約に基き、本年より総会での審議未了を避けるため、緊急を要する提案以外は、全て本部事務局へご提案をしていただくことと致します。提案された案件ごとに、支部長会で審議を尽くし理事会への提案とするか、内容により直接理事会で審議するよう提案するか支部長会で決めていただきます。

新支部長紹介



青葉区支部

JAZGUV / 1

小野治青葉区支部長

1994年に旧緑区から青葉区となり、新青葉区支部として塚支部長のもと運用されてきましたが、この8月29日の青葉区支部の総会にて新メンバーのもと役員改定を行いました。青葉区は新興住宅地域としての開発がめざましく、それだけ地域の結束も重要で、且つ災害に対する対策も必要な地域であると思います。また、アマチュア無線を趣味にされている方も非常に多くおられますが、新しい地域でもある

ことから、なかなかこの非常通信への関心が集まらないというのも現状のようです。こうした現状も踏まえ、まずは地域内でのこの活動の重要性を皆さんに認識していただき、組織の活性化構築に努力してまいりたいと思います。ちなみに、既に区役所には青葉区役所クラブ、JO1YTSも設置されており、144, 430, 1200MHzでの運用が可能です。また、ロケーションの非常に良い「みずがけ丘地区センター」にはアンテナが設置されており、非常時には個人無線を持ち込んでの運用を可能としています。今年度はこの拠点からの通信エリア確認実験を予定しております。このように、青葉区支部と致しましては、ソフト面、ハード面の両面からバランス感覚で活動推進してまいりたいと思います。新メンバーでの運営に関し他支部皆様のご支援を宜しくお願ひします。

地域支部活動状況

港北区支部 第25回 八都県市合同防災訓練へ参加

9月1日の八都県市合同防災訓練はおかげさまで無事に終了。

<<1>>本番前状況

港北支部参加者 24名 先発隊 区役所 7:15出発 11名が3台に資機材を搭載、分乗して出発、8時過ぎに到着 本部、拠点を立ち上げる。



<<2>>外部との交信実験

港北支部だけでなく、川崎や横浜各区との交信実験を予定して行いました。予定通り10時15分位から開始、10時40分まで行いました。磯子区、中区、都筑区、港北区、宮前区、杉並区各局13局と交信、訓練会場の森本、斉藤 協力会副会長とも交信。各局ありがとうございました。

各局とはメリット交換のみで状況把握するのが目的でしたが途中、長文訓練情報を突然送付されとまどいました。実際の被災状況では発信者の場所・氏名等と共にどこからどこへ、どのような目的でというような緒言を明確にしないと混乱を引き起こすのみという参考事例となりました。

<<3>>本番開始 プログラム予定通り本番が始まり、11時から11時15分位まで。

| | | |
|------|--------|-----|
| 本部 | JR1YWN | 今野氏 |
| 拠点 1 | JR1KKJ | 筧川氏 |
| 2 | JO1UWG | 藤田氏 |
| 3 | JL1HNR | 相原氏 |

本番訓練は、場内に設置された仮想拠点との間で交信を実施しました。場内各所に大型、小型モニターが設置され、場内放送とともに交信場面が放映され多くの方に、アマチュア無線の活躍をアピールできました。

担当による情報受伝達訓練を参加会員のサポートの元、無事に放送することができました。その後、各訓練が実戦さながらに繰り広げられ12時過ぎにヘリで小泉総理も登場、13時より閉会式が行われました。小泉総理以下、麻生・石破・小野・国会議員の出席や知事、市長などの挨拶で無事終了しました。

<<4>>解散 13時30分

港北支部 事務局 JH1WBG 斉藤 幸男



都筑区支部

9月5日都筑区支部では、防災拠点27拠点中すでに訓練参加済みを除き17拠点の一斉点検及び訓練を実施しました。

区役所無線室、会場係り4名を残し10チームに分かれそれぞれの担当拠点に向かいました。防災拠点には事前に区役所より連絡してありましたが、当直者が不在で、3校は入れませんでした。作業は、チェックリストに点検項目を記入し、保管品の点検を行うと共に、区役所との通信訓練を兼ねて無線機の保守点検を行いました。ボール他若干、所在不明の物があり、管理方法に不備があることが判明しました。

予備電池の使用期限も過ぎており、区役所に通報するなど、点検、訓練終了後区役所会議室に集合し昼食をとりながら反省会をしました。

10月から翌年3月に掛けて本年度の各防災拠点ごとの訓練があり、我々も参加協力する予定です。

都筑区支部長 JR1NVW 斎藤文三

港南区支部

港南区の2004年度地域防災拠点訓練は8月28日から始まり、昨日(9/12)で32拠点中、22拠点の訓練が無事終わり、残り10拠点が11月23日までの間に行われます。2004年度支部活動状況、2004年度訓練計画、訓練風景写真のHPに掲載しておりますので、是非ご覧下さい。訓練風景写真は1訓練会場あたり、4枚を基準としてあります。また、9月6日の神奈川新聞に港南支部の活動に関する記事が出ています。同じくHPに掲載しております。

支部のホームページ:

<http://www7.plala.or.jp/actssano/Kounan/>

港南区支部長 JA3CBS 佐野 和義

防災フェア磯子区

理事 片山晋 JA1XLU 寄稿

横浜市とラジオ日本主催の、平成16年度「防災フェア」は8月21日22日、これまでの山下公園でなく、赤レンガ倉庫前のイベント広場で開催されました。そして横浜市アマチュア無線非常通信協力会のブースを磯子支部が担当し、磯子支部の考え方や活動など磯子カラーで行わせて頂きました。すなわち、①災害時の情報伝達の重要性を認識してもらうこと（情報がパニックから抜け出す時間を短くする。全ての行動は何らかの情報によって始められる）。②横浜市と協定を締結した横浜市アマチュア無線非常通信協力会の組織と存在を知ってもらうこと（市役所と各区役所に災害時の情報伝達目的のアマチュア無線局が開設されている）。③災害時情報の多くは地域内近場内情報であること（災害時の想定情報を列挙してみたところ、遠くへ伝達する情報は少ない）④特定小電力トランシーバの活用が有効であること（町内会自治会で持



当日は高校野球の準決勝と決勝、そしてオリンピックの期間中でもあり、またハムフェアとも重なっていましたが、さすがに観光スポットだけあって、そこそこの来場者がありました。ただし横浜市以外の来訪者や外国人来訪者も多くありました。全体的に客足も途切れず休憩をとる間もない状態で、まずまず成功裏に終わることが出来ました。しかし、じっくり時間を掛けて説明することは難しく、短時間に理解してもらうテクニックは研究不足でした。またお客様は多かったので用意していた協力会入会申請書は1枚も使うことはありませんでした。防災フェア目当てより観光客が多いので、少なくとも配布したチラシに「読み終わったら、町内会自治会の会長さんや防災担当者、またはご近所のアマチュア無線家などにお渡し下さい」と書いておけば良かったと反省しています。最後になりましたが、当会の会長、副会長、役員を始め各支部からも多数応援来場して頂きましたことに感謝すると共にお礼申し上げます。



ち、普段から使い慣れていると良い）。⑤消火、救命、炊き出し等と同じく近隣での助け合いと関係は、情報伝達においても例外でないこと（情報伝達は専門家のやることの認識を変える）。⑥区民による特定小電力トランシーバの活用と我々協力会員のアマチュア無線との関係で相乗効果が期待できること（地域防災拠点からさらに末端間との情報伝達と、地域防災拠点から区役所その他遠距離との情報通信との関係）。などをPRしました。具体的には作成した大看板を用いての説明。PRチラシの配布。パソコンによるナレーション付きPowerPoint画面で繰り返しエンドレスでの説明。来場者の特定小電力トランシーバによる交信体験。災害時に有効な通信機材の展示。その他にアマチュア無線の運用も行いました。防災フェア主催者が準備してくれたブースのサイズは幅2間、奥行き1.5間のテントでしたが、会場は芝生ではなく石畳であり、灼熱地獄と想定しブース前に2間×2間のフライシートを張って日陰をつくり、キャンプ用の椅子テーブルを置いて来場者が立ち寄り易くしました。そして特定小電力トランシーバで交信体験をしてくれた人には、ボールペンやキャンディーを差し上げました。磯子支部の7N4XIA（女性会員）とJA1LCW（中学生会員）とのコンビによる、特定小電力トランシーバでの交信お相手がすばらしく、準備したボールペン300本は、あと2時間を残して品切れとなってしまいました。

支部現況報告

(支部長 会員数 防災拠/広域避難場所数)

| | | | | |
|----------------|--------|-------|--------|---------|
| 鶴見区 | JH1SUM | 堀川 勝次 | 37名 | 31/6 |
| 神奈川区 | JF1BNA | 安藤 和男 | 61名 | 22/18 |
| 西区 | JA1ALN | 千石 明 | 35名 | 12/5 |
| 中区 | JE1ESN | 佐藤 通雄 | 17名 | 14/7 |
| 南区 | JJ1AKB | 山田 幸一 | 63名 | 25/10 |
| 港南区 | JA3CBS | 佐野 和義 | 118名 | 32/6 |
| 保土ヶ谷区 | JK1DRM | 太田 稔 | 19名 | 26/3 |
| 旭区 | JA1SKY | 宮本 尚 | 93名 | 36/9 |
| 磯子区 | JO1EKF | 安池 清 | 42名 | 22/7 |
| 金沢区 | JA1HQH | 安田 和彦 | 30名 | 26/13 |
| 港北区 | JM1BPG | 浅利 信蔵 | 54名 | 28/9 |
| 都筑区 | JR1NVW | 斉藤 文三 | 128名 | 27/7 |
| 緑区 | JA1UVS | 鈴木 智夫 | 46名 | 23/7 |
| 青葉区 | JA2GUW | 小野 治 | 11名 | 38/13 |
| 戸塚区 | JG1GQH | 渡辺 潤 | 47名 | 35/12 |
| 栄区 | JG1UAE | 宇田川 淳 | 26名 | 21/6 |
| 泉区 | JF1XBQ | 川畑 正司 | 37名 | 23/6 |
| 瀬谷区 | JR1VYW | 小島 陽 | 28名 | 15/2 |
| (H16.09.30 現在) | | | 合計892名 | 456/146 |

編集後記

この夏のうだる様な猛暑の中、更に熱狂の渦に日本中を巻き込んだのが何と言ってもアテネオリンピック。普段はスポーツに疎い私もオリンピックイヤーだけは熱狂的なスポーツファンに、そして「にわか解説者」と化す始末。まったく今回の日本勢の活躍ぶりには幾度テレビの前で歓喜の「バンザイ」を叫んだことでしょうか。北京への期待も膨らむばかり・・・、選手達の重圧は如何ばかりか、と憂いも少々。さて、憂いと言えば異常気象による被害の数々。新潟、福井の集中豪雨、そして、幾つもの大型台風襲来は各地に大きな爪痕を残しました。浸水した住宅から泥を掃き出すなど作業ボランティアは県外からも多く駆け付けたようです。そして、やはり被災地から「情報伝達の迅速性、確実性」を望む声は声高に挙げられていました。非常通信の志気の高まりにつなげなければ・・・とオリンピックの陰で考えさせられた出来事でした。(丸)

